

展覧会開催にあたって

戸津先生が創作活動の拠点とされている長和町までは車で30分とかかりません。30年前その土地に工房をつくり、越してきたのだそうです。この春、工房を訪ねました。足の踏み場なく置かれた作品の中にあってひととき存在感を放っているのは今昔物語に材をとった作品。新鮮で何より楽しい。

齢八十とお聞きするも、創作の意欲なお衰えを感じさせません。金偏に寿で「鑄る」とはよくしたものです。

鑄金作家として知られる一方で、東大寺大仏の鑄造と補修研究などの鑄造文化財の研究者として関わった実績もおありです。

「鑄る」一筋50年の軌跡。鑄金作家としての創作活動の歩みを辿りながら、研究者としての大きな業績を併せてご高覧いただきたいと思います。

梅野記念絵画館 館長 佐藤修



■2018年展覧会スケジュール

変更となる場合もございます。

	10	11	12	1	2	3
大展示室		第18回 私の愛する一点展 9/30～1/14			色彩のハーモニー 安藤信哉展 2/15～3/31	
ふれあい館	天空の芸術祭 10/13～10/28	第7回「鑄る」戸津圭之介展 ～ブロンズに魅せられて～ 11/3～1/14			収蔵品整理のため休館	市民ギャラリー 2/15～3/31

■2018年イベントスケジュール

11/4 (日)	野見山暁治 講演会	13:00～ (要予約)
	アートツアー 同時開催 (要予約)	
11/18 (日)	「東大寺大仏の鑄造」戸津圭之介講演会	13:00～ (要予約)
12/2 (日)	楽しい絵手紙教室	13:00～ (要予約)

詳細はお問い合わせください。*変更となる場合もございます。

■施設情報、開館案内

とうみし
東御市梅野記念絵画館 <http://www.umenokinen.com/>

〒389-0406 長野県東御市八重原 935-1

TEL0268-61-6161、FAX0268-61-6162、umenokinen@ueda.ne.jp

開館時間 午前9時～午後5時 (4時30分迄にご入館ください)

入館料 800円 (高校生以上) 15名以上団体700円

身障者割引、学校利用減免、減額制度もあります。

休館日 11月5、12、19、26日 12月3、10、17日

1月7日 冬季休館日 12月24日～1月4日

■アクセス

お車 練馬ICから2.5時間

◆ 関東、北陸方面から
上信越道東部湯の丸インターから15分

◆ 中部、関西方面から
長野道岡谷インターから新和田トンネル、
R142号経由で約1時間

鉄道 東京から最速2時間
しなの鉄道「田中」下車、タクシー15分

◆ 関東、北陸方面から
北陸新幹線「上田」で、しなの鉄道乗換「田中」下車。

◆ 中部、関西方面から
特急しなの号利用「篠ノ井」で、しなの鉄道乗換
「田中」下車。



第7回「鑄る」 戸津圭之介展 ～ブロンズに魅せられて～



2018年 2019年
11月3日(土・祝)～1月14日(月・祝)

「東大寺大仏の鑄造」戸津圭之介講演会

11/18 (日) 13:00～(要予約)



同時開催：第18回 私の愛する一点展

■〒389-0406 長野県東御市八重原 935-1 ■TEL0268-61-6161

年譜

- 1938年 画家戸津文雄の長男として東京浅草に生れる
- 1954年 東京都立工芸高等学校入学 初めて鑄金を体験しその面白さに出逢う
- 1961年 東京藝術大学工芸科鑄金専攻卒業 工芸科金工部副手日展(東京都美術館)・現代工芸美術展に出品(日本橋高島屋)(~70年)
- 1964年 東大寺大仏の鑄造に関する共同研究が開始され毎年参加
- 1969年 東京藝術大学工芸科鑄金専攻の非常勤助手・非常勤講師として勤務(~82年)
- 1970年 グループ展・個展に動物をモチーフに作品を発表(新宿小田急・六本木つかもとなど)
- 1976年 日本伝統工芸展初入選 奨励賞受賞 以後21回入選(日本橋三越)
- 1977年 伝統工芸日本金工展・伝統工芸新作展に出品 文化庁長官賞・朝日新聞社賞日本工芸会賞・記念賞・日本工芸会東京支部賞・奨励賞などを受賞 伝統工芸日本金工展・伝統工芸新作展 鑑審査委員を歴任・日本工芸会正会員(~06年)
- 1981年 東武動物公園に「親子の河馬」モニュマン制作・設置
- 1982年 東京藝術大学文部教官助手
- 1983年 「伝統工芸30年の歩み」展(サントリー美術館)
- 1986年 「工芸・世紀末の旗手たち」展(サントリー美術館) 東京藝術大学文部教官講師
- 1987年 「東京藝術大学創立100周年記念」展(有楽町アートフォーラム) 文部省在外研究員として中華人民共和国に派遣
- 1988年 東京藝術大学文部教官助教授 「全米鑄鉄鑄造美術家会議」出席(アラバマ州・オレゴン州・ワシントン州・ミネソタ州)
- 1989年 平泉中尊寺に「松尾芭蕉銅像・奥の細道銘板」制作・設置「鑄る」戸津圭之介自選展(中尊寺資料館)
- 1990年 平成天皇即位大嘗祭使用「州浜」の塑造原型の制作
- 1991年 東京藝術大学文部教官助教授 鑄金の魅力「戸津圭之介の世界」展(富岡美術館)
- 1992年 杉並区指定文化財「青銅鑄造製灯籠一対」の保存修復を開始(~95年)
- 1994年 国際交流基金による「在外日本美術品調査団」に参加ポーランド・ロシア歴訪 日本橋青銅製装飾品調査・保存修復開始
- 1995年 薬師寺講堂薬師三尊像鑄造技法調査(文化庁・奈良県教育委員会)
- 1997年 共同研究の成果「東大寺大仏の研究―歴史と鑄造技術―」刊行(共著)岩波書店
- 1998年 法隆寺百済観音堂奉納「金彩蠟型鑄銅五具足」制作
- 1999年 法隆寺百済観音堂奉納「金彩蠟型鑄銅常夜灯」制作 「日本橋装飾品の解体・修復工事」総括監修 完成 日本橋88周年記念フォーラム~日本橋に青い空を~(三越劇場)
- 2000年 調べ学習日本の歴史「奈良の大仏の研究」監修・イラスト制作(ポプラ社)
- 2003年 「工芸の世紀」展(東京藝術大学美術館)
- 2004年 個展 第1回「鑄る」戸津圭之介展 (銀座ギャラリームサシ)
- 2005年 退任記念「鑄る」戸津圭之介の軌跡展(東京藝術大学大学美術館陳列館)
- 2006年 「鑄る」戸津圭之介作品集展(日本橋三越) 日本工芸会 退会
- 2007年 日本美術「今」―絵画・彫刻・工芸―展(日本橋三越) 個展第2回「鑄る」戸津圭之介展 一よみがえる動物たち―(銀座ギャラリームサシ)
- 2009年 個展 第3回「鑄る」戸津圭之介展―HIPOPPOTAMUS―(銀座ギャラリームサシ)
- 2011年 個展 第4回「鑄る」戸津圭之介展―HIPOPPOTAMUS―II(銀座ギャラリームサシ)
- 2013年 個展 第5回「鑄る」戸津圭之介展―鎮魂の譜―(巣鴨 高岩寺境内)
- 2015年 テーマで調べる「東大寺の大仏」監修・イラスト(ポプラ社)
- 2017年 東日本大震災七回忌「抜苦地藏」制作・開眼(岩手県大槌町 吉祥寺境内)
- 2018年 個展第6回「鑄る」戸津圭之介展「祈りの風景」(巣鴨 高岩寺会館) 個展第7回「鑄る」戸津圭之介展~ブロンズに魅せられて~ 梅野記念絵画館(長野県東御市)

現在:鑄金作家(無所属)・工房「むじろ」主宰・東京藝術大学名誉教授



「親子」バンジー 1970



白金彩麗銀渦巻盤 1986



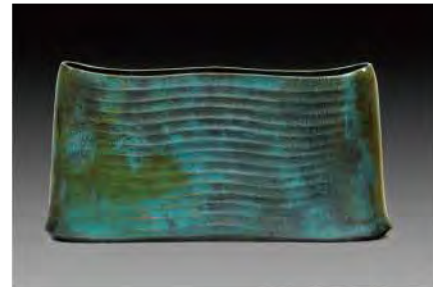
蠟型鑄銅「クモザル」蓋物 1989



今昔物語より「シシとワシの話」(部分) 2012



金銀彩蠟型黄銅耳付盤 2004



鑄銅花器「青の譜」 2000



蠟型白銅鑄絡麗銀深鉢 2005



水の中のおやこ 2011



水の中の仔かば (3頭組) 2010



阿吽のかば



今昔物語より「亀の恩返し」(部分) 2016



今昔物語より「美しい鹿の話」(部分) 2012



今昔物語より「調子にのったキツネ」(部分) 2016